

平成19年度 事務事業評価表			担当	教育委員会 学校教育課	内線等	1603
事務事業名	就学事務事業			事業コード	5. 義務的事業	
根拠法令等	学校教育法、学校教育法施行令			A 法令		

総合計画での位置付け

基本目標	4. 豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	学校教育
------	---------------------	-----	------

事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市の新入学児に対して
手 段	適正な就学指導をすすめることによって
想定する成果	新入学児の適切な就学先の決定及び未就学児をゼロにすることができる。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
就学事務の内訳	保育園等での生活の実態調査 教育相談及び就学时健康診断 知能検査 就学指導委員会 就学通知書、学齢簿作成	保育園等での生活の実態調査 教育相談及び就学时健康診断 知能検査 就学指導委員会 就学通知書、学齢簿作成	保育園等での生活の実態調査 教育相談及び就学时健康診断 知能検査 就学指導委員会 就学通知書、学齢簿作成

成果指標

成果指標名	新入学児童数	未就学児童数
成果指標の説明	満6歳をむかえ、小学校に入学する児童数	満6歳をむかえても、小学校に就学しない児童数

事業の進捗状況 ( 一般 会計 ) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		759人				746人				732人			
成果指標		0人				0人				0人			
事業費	事業費	2,198				2,140				2,201			
	人件費	3,114				3,124				3,138			
	(人数)	正規	0.4	非常勤		正規	0.4	非常勤		正規	0.4	非常勤	
	合計	5,312				5,264				5,339			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	5,312				5,264				5,339			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	3	2	3	転居等のため、就学先がなかなか確定できない場合がある。
経済効率性	2	3	2	3	極力費用をかけず、調査をすすめている。
事務効率性	1	1	2	1	子ども一人一人に適正な就学指導をすすめるためには、膨大な時間と手間を要する。さらに、障害のある児童や外国人も増加しているため、さらにきめ細かな対応が必要である。
必要性	-	3	-	3	義務的事業
小計	5	10	6	10	
施策への貢献度	2	-	2	-	新入学児から詳しい情報を得ることにより、適正な就学指導ができるのではないかと。
合計	7	10	8	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	B	A	一人一人に適正な就学指導をすることは、きわめて重要である。今後、さらに、障害のある児童や外国人も増加しているため、さらにきめ細かな対応が必要である。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
未就園児童の情報が得られにくいため、各関係機関との連携を図っていきたい。
上記改善点の実施状況
各小学校が保育園等を訪問して、情報を得たりして連携を深めつつある。

今後さらに改善すべき点

未就園児童や外国人の情報が得られにくいため、各関係機関との連携をさらに密にしていく必要がある。
---

平成21年度予算に反映する項目

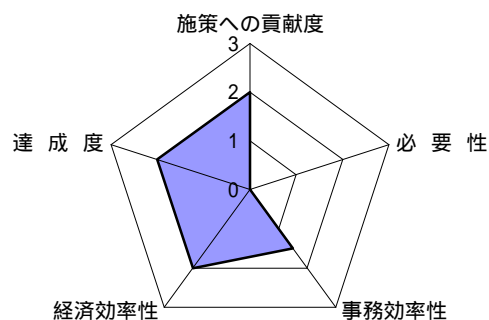
委託業務に外国籍未就園児情報を追加したい
----------------------

今後の方向性

<b>拡大、充実</b>
--------------

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点